

平成15年度予算概要をお知らせします

☆ 一般会計 次頁のとおり

☆ 特別会計

◎ 国民健康保険特別会計

平成15年度歳出では、保険給付費で前年度対比3.9%増、介護納付金24.8%増、また老人保健拠出金は10.4%の減額となった。歳入では、保険税は19.8%減、一般会計繰入金28.3%減、国庫支出金2.5%増、療養給付費交付金36.67%増で、歳入歳出総額はほぼ前年並の828,200千円を計上した。なお保険税負担軽減のため36,840千円を繰越金にみた。また低所得者層救済目的の保険基盤安定制度では国が1/2、県が1/4、残りを町が負担し一般会計より28,155千円を繰入れることとした。

◎ 老人保健特別会計

平成15年度老人保健特別会計の医療諸費等の総額は、1,238,655千円となり前年度比で9.3%の減となった。医療給付費・医療費支給費における費用額の負担割合については、平成15年3月から9月診療分までは、支払基金が66/100、国が136/600、県および町がそれぞれ34/600を負担し、平成15年10月から平成16年2月診療分までは、支払基金が62/100、国が152/600、県および町がそれぞれ38/600を負担することになる。なお、一定以上所得者にかかる費用額については公費負担対象外となる。また国保連合会・支払基金委託による審査支払委託料は、支払基金が全額負担となっている。

◎ 下水道事業特別会計

平成15年度は、特定環境保全公共下水道事業（汚水）、及び9年度より実施している矢代田地区雨水対策の一環である公共下水道（雨水）事業を、継続する。

特定環境保全公共下水道事業費は、前年度と比較し、補助事業費20,000千円増の240,000千円、単独事業費は前年度と同額の50,000千円を計上した。

公共下水道（雨水）事業は、補助事業費20,000千円計上し、単独事業は1,000千円増の3,000千円を計上した。

その他では、流域下水道建設負担金9,854千円、公債費等で元金285,116千円、利息で187,749千円を計上した。

◎ 介護保険特別会計

歳出では、総務費が前年対比1.6%増の39,600千円、保険給付費が介護保険法第117条に基づく事業計画見直しによる介護サービス事業量の増加が見込まれ15.1%増の608,237千円、財政安定化基金拠出金は、新潟県介護保険財政安定化基金の第1期事業計画期間中の基金積立金残高の確保状況から71.4%減の678千円、介護給付費準備基金積立金は第2期事業計画期間後半年度の保険給付に備えるため、歳入の保険料・国庫給付費負担金過年度分等を当て12,478千円を計上した。

歳入では、全体で第2期事業計画の介護サービス事業量の増加に伴う保険給付費を確保するため、保険料が31.8%増の105,377千円、国庫支出金では、前年度給付費負担金精算による追加交付分を含み20.3%増の169,577千円、支払基金交付金も同じく12.6%増の196,436千円、県支出金は16.5%増の76,986千円、繰入金は一般会計介護給付費繰入金の15.1%増など112,992千円となり、歳入歳出の総額は前年度対比で15.9%増となる661,414千円を計上した。

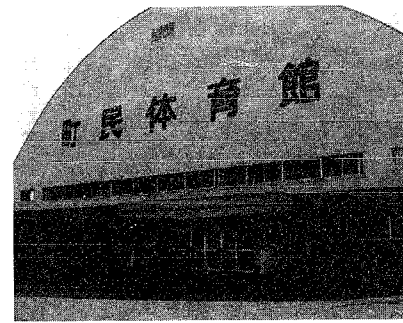
◎ ガス事業会計

平成15年度の収益的収入は311,470千円、支出では、修繕引当金5,000千円、本支管、供給管漏洩検査及び消費機器検査委託料4,678千円、減価償却費39,737千円、企業債利息13,761千円などで、総額268,392千円を計上した。

資本的支出では、ガス管の布設替工事及び公共下水道工事に伴うガス管支障移設工事等60,000千円、業務設備費1,850千円、企業債償還金27,745千円などで総額89,595千円を計上した。

◎ 水道事業会計

平成15年度収益的収入は297,365千円、支出では、水質検査委託料2,300千円、機械施設修繕費13,740千円、配水管修繕費5,000千円、動力費12,800千円、減価償却費88,396千円、企業債利息68,668千円など、総額281,260千円を計上した。資本的支出では、老朽管更新事業、配水管整備事業等で88,400千円、公共下水道工事に伴う水道管支障移設工事10,000千円、業務設備費2,000千円及び企業債償還金51,941千円を計上、総額では175,141千円を計上した。



町民体育館

界等から抜本的振興策などのご提示を頂けたら真剣に研究、検討をさせて頂く所存であります。当町の経営者各位の堅実な経営に対しては、日頃より敬意を表しているところでありますが、更なる自助努力により、今日の難局を乗り切ってくださいることを念願する次第であります。文教関係につきましては従来

の施策を踏襲してまいりますが、生涯教育と「まごころの町」推進事業は、さらに推進するよう努めてまいります。施設面では、町民体育館玄関口のバリアフリー化と衛生施設（便所等）の改善及び障害者用のトイレの新設を行います。

市町村合併について

最後になりますが、小須戸町が昨年、十月七日に新潟地域合併問題協議会に加入しました、協議会も去る二月二十一日で第五回を終了いたしました。これまで決定しましたことは合併の期日は平成十七年三月までとすること等、柱となる五項目であります。行政事務の比較等についても「広報こすど」一月号、三月号でお知らせしております。

イントラネット事業について

約一年間をかけて、行ってまいりました事業も全町内の公的施設には設備整備も終わり、また小、中学校のパソコンの増設も完了、また役場庁舎内にも今月中に全部所に設置いたします。また県内で遅れをとっております。また、当町のホームページの開設は去る三月三日「小須戸地域ポータルサイト」として開局致しました。今後はより多くの情報を提供してまいりますので、多数の皆様のご利用をお願いいたします。

のご覧頂きたいと存じます。尚これからの重要な協議事項は合併建設計画（地域建設計画）があります。各市町村の重要課題について協議されることになりませんが、当町の計画主張が広くご理解を得、採択されるよう最大の努力をし、希望のある地域づくりの路線をしっかりと構築してまいりたいと思っております。

以上、町行政の現況報告と今後の方針について述べさせて頂きました。変化の激しい行政環境の中ではありますが、本年度も精一杯の努力を重ねてまいり所存であります。議員各位並びに町民皆様の一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成十五年年度の施政方針の開陳を終わります。

よろしく お願いいたします		新年度職員の異動	
町では、四月一日付で次のとおり職員の変動を発令しました。			
総務課	()は前任		
庶務係長 田沢 広一			
保健福祉課			
(保健福祉課介護保険係長)			
保健指導係長 窪田 一美			
係 (保健師長)			
高野 浩美			
(保健衛生係)			
齋藤 路子			
(保健衛生係)			
(新採用)			
丸山 拓栄			
(保健衛生係長)			
健康福祉係長			
丸山 拓栄			
係 (保健衛生係長)			
高山 光枝			
(保健衛生係)			
阿部 康弘			
(保健衛生係)			
知野 利和			
(教育委員会中央公民館)			
鈴木 美奈子			
(福祉係)			
高年齢福祉係長			
兼和 均			
(福祉係長)			
上田 文子			
(介護保険係)			
建設課			
施設整備係			
武田 峰和			
(産業課農産商工係)			
下水道係			
桑原 秀幸			
(施設整備係)			
産業課			
農産商工係			
井本 雅義			
(農業委員会農政係)			
農業委員会			
農政係			
内山 洋子			
(建設課下水道係)			
教育委員会			
学校教育係			
兼和 宏子			
(建設課下水道係)			
社会教育係			
井上 正則			
(学校教育係)			
給食センター係長			
高野 清丸			
(総務課庶務係長)			
退職者(三月三十一日付)			
給食センター係長			
菊地 伸一			
家塚 俊晴			
(介護保険係)			
小林 正人			
(介護保険係)			
星 誠			
(福祉係)			
倉部 洋子			
(保健衛生係)			